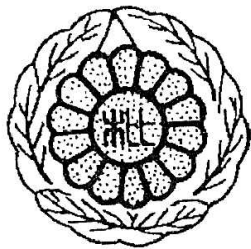


学校だより



枇 杷 島

第13号

令和5年

2月17日(金)



校訓

強く
正しく
仲よく

名古屋市立枇杷島小学校

〒451-0053 名古屋市西区枇杷島三丁目16番33号

TEL 521-8636 FAX 522-2364

ホームページ <http://www.biwajima-e.nagoya-c.ed.jp/>

Biwajima Biwajima Biwajima

学校教育に関するアンケートありがとうございました。

先日お願いをいたしました学校教育に関する保護者アンケートには、総配布数333通中、309通のご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

評価分析

※ 設問により回答の得られなかった場合がありますので、人数の合計は一致しない部分があります。

○児童への質問

◎保護者への質問

☆教職員への質問

設 問 ①	○学校へ来るのは楽しいですか？ ◎お子さんは、学校へ楽しく行っていますか？ ☆児童は楽しく学校生活を送っているか？				
		A とても	B まあまあ	C あまり	D まったく
	児 童 (%)	220(67.3%)	86(26.3%)	18 (5.5%)	3 (0.9%)
	保 護 者 (%)	203(65.7%)	94(30.4%)	11 (3.6%)	1 (0.3%)
	教 職 員 (%)	4(23.5%)	13(76.5%)	0 (0%)	0 (0%)



多くの児童が「学校は楽しい」と答えていました。保護者の方からも、A B合わせて90%を超える評価をいただくことができました。しかし、21人の児童がCまたはDと答えていることも重く受けとめなければならないと考えています。全ての児童が「学校は楽しい」という思いをもって生活できるよう、保護者の皆さんと連携しながら、一人一人の児童を指導していききたいと思います。

設 問 ②	○友達や先生、学区の人と、「おはよう」「さようなら」と挨拶することができていますか？
	◎お子さんは、「おはよう」をはじめとする気持ちのよい挨拶をしていますか？
	☆児童は進んで挨拶ができていますか？

	児 童 (%)	181(55.4%)	119(36.4%)	24 (7.3%)	3 (0.9%)
	保 護 者 (%)	154(50.0%)	130(42.2%)	24 (7.8%)	0 (0%)
	教 職 員 (%)	0(0%)	14(82.4%)	3 (17.6%)	0 (0%)



学校での様子を見ていると、校門では挨拶できている児童が多いですが、挨拶の声が小さかったり、校内に入ると自分から進んで挨拶できなかつたりする児童もいます。また、旗当番の保護者の方や地域の方にもしっかりと挨拶ができる児童になってほしいと思います。児童の自己評価は高く、教職員の評価と差があります。地域の方々や学校への来客者など、誰にでも進んで気持ちのよい挨拶をすることができるように呼び掛けていききたいと思います。今後ともご協力をお願いします。

設 問 ③	○授業中に、友達のいろいろな考えを知って、自分と違う考えを認めたり、参考にしたりして、自分の考えを見直すことがありますか？ ◎お子さんは、ICTを活用して、自分と友達の考えを伝え合うことで、いろいろな考えを知り、自分と違う考えを認めたり、参考にしたりして、自分の考えを見つめ直すことができますか？ ☆児童はICTを活用して、友達と考えを共有したり、比較したりすることで、より多様な考え方に気づき、自らの考えを修正したり、広げたりすることができているか？
-------------	--

	A とても	B まあまあ	C あまり	D まったく
児 童 (%)	164(50.1%)	137(41.9%)	23 (7.0%)	3 (1.0%)
保 護 者 (%)	83(27.1%)	177(57.8%)	44 (14.4%)	2 (0.7%)
教 職 員 (%)	5(29.4%)	11(64.7%)	1 (5.9%)	0 (0%)



今年度は『考えを広げる！ びわじまっ子 -ICTを取り入れた学習を通して-』を学校教育努力点のテーマとして、ICTを活用し、課題に対する考えを友達と共有したり、比較・検討したりして、改めて自分の考えを見つめ直すことができるような実践をしてきました。児童の評価は高かったのですが、保護者アンケートの結果は、CD合わせて約15%となりました。保護者の方に、ICTの活用の仕方について、伝わりにくかったり、成果を実感しづらかったりする部分があったと考えています。今後は、発達段階に応じて、ICTの活用内容や方法を検討し、整理していきたいと考えます。また、学校教育努力点のテーマについても、伝わりやすさ、実感しやすさも考慮して、児童の実態に合ったテーマを設定したり、取り組みや実践を学校だよりや学年だよりで積極的に発信したりしていきたいと思ひます。

設 問 ④	○クラスのなかまや学校のみなどと、仲よく協力して生活することができていますか？ ◎お子さんは、学級や学校の友達と、仲よく協力して生活することができていますか？ ☆児童は友達と仲よく協力して生活することができているか？
-------------	--

	A とても	B まあまあ	C あまり	D まったく
児 童 (%)	244(74.6%)	72(22.0%)	11 (3.4%)	0 (0%)
保 護 者 (%)	207(67.4%)	94(30.6%)	6 (2.0%)	0 (0%)
教 職 員 (%)	4(23.5%)	13(76.5%)	0 (0%)	0 (0%)



児童、保護者、教職員とも、評価が高い項目です。緩和されつつあるとはいえ、今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、日々の学校生活は、多くの制約がありました。その中でも、各学年、学級などで、協力することのすばらしさや大切さについて指導をしてきました。今後も、児童一人一人が主体的となって、いじめのない学校づくりのために行動できるよう支援し、全員の児童が安心して通うことのできる枇杷島小学校にしていきたいと思ひます。

設 問 ⑤	○悩んだり困ったりした時に、先生やスクールカウンセラーの中川先生に相談することができましたか？ ◎学校は、子どもの悩みや問題行動に適切に対応することができていますか？ ☆問題行動が起きた場合、必要かつ適切な指導が行われ、組織的な対応ができているか？
-------------	--

	A とても	B まあまあ	C あまり	D まったく
児 童 (%)	113(34.7%)	105(32.2%)	70 (21.5%)	38 (11.6%)
保 護 者 (%)	156(51.3%)	140(46.1%)	7 (2.3%)	1 (0.3%)
教 職 員 (%)	3(17.6%)	14(82.4%)	0 (0%)	0 (0%)



保護者の方からは、とても高い評価をいただくことができました。しかし、CDと答えている児童が多くいました。「悩みがなかった」「友達に相談する」などの理由も考えられますが、児童に積極的に声を掛けることで、相談しやすい、話しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと思ひます。これからも、家庭と学校、スクールカウンセラーと協力して児童を見守っていききたいと思ひます。

学校評議員の方からICTの活用について、「自分から発表できない児童や言葉ではなく文章なら伝えることができる児童にとってはとても有効」との言葉をいただきました。アンケート結果を基に、来年度に向けて児童一人一人に目を向けたよりよい学校づくりを一層推し進めていくように努力してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。